



なばり

2017年（平成29年）10月25日発行

主な内容

- 3……スマホなどを活用した手話通訳対応サービス導入
- 5……秋の全国火災予防運動
- 6……あれっこわい認定
- 7……伊賀地域二次救急実病院
- 8……とれたて！なばり2017

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

広報なばりは、発行日の4〜5日前から順次各戸配布しています。配布についてのお問い合わせは、名張市シルバー人材センター（☎63・6800）へ



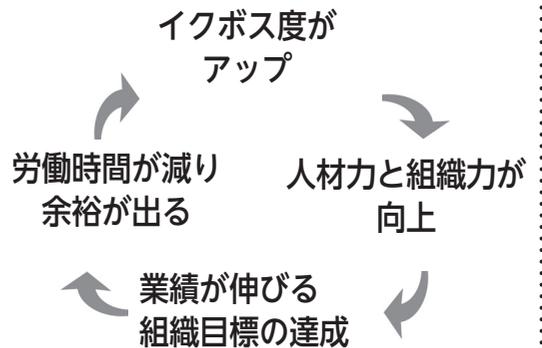
まちじゅう元気！ イクボス宣言

本市では働きやすい、子育てや介護がしやすい多様な生き方が選択できるまちの実現を目指し、市内の65事業所とともに、「まちじゅう元気！イクボス宣言なばり」の合同宣言を行ないました。今後、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）をオール名張で取り組んでいきます。

☎ 人権・男女共同参画推進室 ☎ 63 - 7559

「イクボス」とは

職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のこと。



イクボス養成講座 安藤哲也さん講演

「働き方改革は、イクボスから。」の一部を紹介します。



NPO法人ファザーリング・ジャパン
代表理事 安藤 哲也さん

1962年生。3人の子を持つ父親。大学卒業後、出版やIT企業で働く。平成18年に会社員の傍ら、父親の子育て支援・自立支援事業を展開するNPO法人ファザーリング・ジャパンを立ち上げ代表に。

働きづめだった若い頃

20年前は、IT企業で毎日、夜遅くまで働いていました。妻もフルタイムで働いており、夫婦で家事と育児を行なっていました。十分できずに夫婦げんかすることもありました。そのとき思っていた。私は、何のために働いているのだろう。お金のため？出世のため？もっと家族と一緒に過ごして、人生を楽しむために仕事をしているのではないかと気付いたのです。

そこで、長時間労働をすれば評価されるという精神を捨て、もっと効率よく時間あたりの生産性を上げて成果を出す働き方に変えていきました。

職場の空気を変えていく

管理職をしていた当時、徐々に職場の残業は減らしながらも、成果が上がるようになっていきました。その結果、私自身も3年ほど掛かりましたが、週2回は保育園に行ったり、毎日子どもに絵本を読んだりできるように、父親としての役割を果たせるようになっていきました。

男性が育児をすることは意識的には定着してきていると思います。しかし、男性の育児参加を促す活動をしている中で「上司や同僚が残業しているので帰れない」「わが社では有給休暇すら取りづらい」という声をよく耳にします。今、社会が変化してきていて、働き世帯が増えているのに、男性は遅くまで仕事をして、女性は家庭を守るという古い働き方のままになっているんじゃないか。だから、職場の空気を作っている上司・管理職をイクボスにしなければならぬ。そう考え、3年前にイクボスの事業を始めました。

これからの上司像

時代とともに、憧れる上司像は変わっていきます。今の若者からは、自分の家族を大事にして、仕事だけではなく、自分のライフワークを持っている上司が支持されています。

残業ゼロで自分の時間を楽しんでいて、働く人のさまざまな事情を理解している上司がいることは、会社にとってプラスです。離職者が増えず、メンタルヘルスの不調で休む人も減ります。働きすぎることが、美德なんだという価値観をもうそろそろリセットしませんか。

働き方を改めて、決まった時間で成果を出して、自分の私生活を楽しむ、そんな上司を増やしたいと思えます。若い世代が、自分も管理職になりたい、そう思わせるようなイクボスが身近になることがとても大事だと思います。